まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

第 661 号
平成 30 年 11 月号付録

←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【10 月の新入会】

トヨタ部品福岡共販　株式会社
梶屋　玲子
三好　圭子

【10 月の寄付金】

九州電力生活協同組合
㈱宇治川商店

【10 月の寄付品】

坂田艶子、原秀仁、片桐英博、前田富洋、九州電力生活協同組合、アラハコーン、増留愛香音、障がい福祉サービス事業所クレパス、高田川部屋、坂本進、田中康子園田吉春、大雷童母

☆新入会、随時募集中です！！

鬼木大明神　今月の一句

職場でも家庭でもストレスがかかるのは当たり前だ！

仕事が忙しいと、次第に不気嫌になってしまう。

勇気と明るさで自分をそのストレスから解放しようじゃないか！

意識的に意思をもって、上気嫌でいる技術、上気嫌になれる回路を作ろう。

そのストレスを上気嫌力で吹き飛ばそう！

さあ！いつでもどこでもなんでも上気嫌でやろう！！

11 月の予定

1 日	飯倉中央小学校交流会
2 日	佐賀バルーンフェスタ見学
4 日	大野城スピーチコンテスト、脇山歩こう会、田隈公民館バザー
9 日	オイスカ豊田推進協議会来福(～11 日)
10 日	第 10 回オイスカ収穫感謝祭・秋
11 日	黄金川清掃
14 日	宮崎県立農業大学校視察・交流
15 日	南九州大学見学、桜島中学校交流会
17 日	LP ガスセーフティフェア西新パレス(～18 日)
18 日	九電カドフェス、脇山校区ソフトボール大会、地球市民どんたく
19 日	福岡農業高校視察・交流、チャントーエリシルク研修(～22 日・信州大学)
20 日	大相撲九州場所見学、筑紫野市社協職員見学
23 日	宝珠山 100 年の森作り、熊本玉名俵まつり
24 日	MUFG 福岡地区交流会
25 日	高田川部屋千秋楽パーティ インターン蒲池さん来所(～27 日)
26 日	技能実習生のシュクリ正興電機製作所配属
28 日	長崎国際大学交流会
30 日	福岡・マレーシア友好協会ナショナルデー

アテリナの「私に言わせて」

疑いがあなたに挑戦して、そして何もかも行動をしなかったら、疑いがどんどん成長します。疑いに行動をしたら、あなたが成長をします。

出来ない事はない、難しいことは無いです。チャレンジをしなければならないです。チャレンジャーの人は立派になります。失敗しても大丈夫です。頑張りましょう～！！

高田川部屋歓迎ちゃんこ祭り

10 月 29 日(月)、高田川部屋歓迎のちゃんこ祭りが西日本研修センターで行われました。脇山校区の自治協議会や学校関係を中心に 120 名以上参加されました。冒頭に高田川親方からの挨拶と前頭の竜電、輝、十両の白鷹山から九州場所に向けての意気込みがありました。

途中、研修生もアトラクションを行い、力士もダンスに参加をして大いに盛り上がりました。肝心のちゃんこは毎年のように好評であっという間になくなりまして、参加された方の気持ちも胃袋も満たされました。

いよいよ九州場所に向けて稽古も始まります。センターに約 1 か月滞在しますので、高田川部屋の皆様の応援をよろしくお願いします。(安東)

オイスカインターナショナル国際理事会＆国際協力の日のつどい

10 月はオイスカの行事が毎年開催されており、10 月 11 日～12 日にかけては、東京のオリンピックセンターにて 17 ヶ国より各国のオイスカ総局代表（総勢 70 余名）が集まり、オイスカインターナショナル国際理事会が開催され、各国でのオイスカ活動の報告並びに今後の活動について協議されました。特に、国内 3 か所の研修センターで学んだ OB 達が率先して活動している状況報告があり、研修センターの人材育成の重要性が再認識されました。

10 月 24 日には、衆議院第一会館にて「国際協力の日のつどい」（参加者 200 数十名）が実施され、国連にて世界の目標と設定された「SDGs（持続可能な開発目標）」へ、オイスカ活動がどの様に貢献しているかを含めての講演会並びにパネルディスカッションが行われました。当日はフィジーとミャンマーより子供の森計画に参画している実施校の子ども達も参加し、それぞれの地域での活動報告をしてもらいました。

両行事とも、オイスカが 50 数年前よりひたむきに取り組んでいる事業に対しての評価を確認する良い機会となりました。会員並びに関係者のサポートにて活動が継続できていることに改めて感謝致します。(廣瀬所長)

オイスカインターナショナル国際理事会

国際協力の日のつどい

本部の研修について

9 月 19 日から 10 月 25 日まで、東京本部に研修に行って来ました。行く前に、あそこには研修生がいなくて、会ったことがない先生方ばかりなので、行きたくなかったですが、行ってから、先生方は優しく、温かくお世話になって、一か月の後、少し帰りたくなくなりました。本部で事務作業ばかりで、すぐ飽きると思ったのに、勉強になることがいっぱいありましたから、仕事すればするほど、好きになっていました。それぞれの仕事で、意味を持っているのも分かってきました。例えば:

・オイスカ活動の経理のやり方でその活動がうまく動いているか、支援者がその計算を見ると次の活動にまた支援をするかどうか決めることです。

・ブログと記事を書くのは活動報告だけではなく、コマーシャルみたいな活動で、口伝よりマスコミの方が早くて、同時に色々な人に広報できることです。

・積み木に子供が遊ぶだけではなくて、積み木を通して、協力すること、失敗してもう一回やったら成功になることを認め、成功したかったら色々な人から習った方がいいということを身につけることです。

・特に、「子どもの森」計画の活動を教えてもらって、それから、ベトナムではどんな活動から始めたらいいのかを分かってきたことです。

タンさんとモンゴルからの CFP の子供達

本当に、自分の視野が広がってきて、本部での一か月間は貴重な時間だと思っています。本部で勉強するチャンスをもらって、ありがとうございました。(国際ボランティアコース・タン)

佐賀料理交流会＆タイツアー帰国報告会

10 月 28 日(日)佐賀県国際交流プラザで佐賀料理交流会＆タイツアー帰国報告会が行われました。これは佐賀国際フェスタ月間の中のプログラムの 1 つであり、毎年実施しています。

今回はメキシコ料理で料理交流会は 6 回目の開催です。メキシコ研修生のマリアさんが講師となり、20 名近くの参加者にタコス、アステカスープ、アッロズコンレチェ(デザート)の作り方を教えました。試食中にメキシコについての話をしました。参加者からは料理がおいしくて喜ばれていましたし、マリアさんにも積極的に話しかけられ、激励などをいただきました。

また、引き続き行われました佐賀ラブグリーンの翼タイツアー(8/16～20 実施)の帰国報告会では、最初に行程を振り返るスライドを観賞し、各参加者からの感想がありました。帰国から 2 か月経ちましたが、先日行われたかのように思い出話に花が咲いていました。(安東)

若い参加者と料理を作っているマリア

マリアと料理交流会の一部の参加者と佐賀支部の方々

技能実習先紹介(株式会社 オークマ)

株式会社オークマ(大隈晴明代表取締役社長)は明治 44 年創業以来、朝倉市に2ヵ所、東峰村に 1 ヵ所、中国に 2 ヵ所の工場を構え、住宅用の内装ドアを中心に人の暮らしに密接につながる建築部材の製造、販売を行っている企業です。お客様と共に、地域と共に社会における役割を様々な側面から捉え、本当の「豊かさ」や「ゆとり」のある、AMENITY(快適環境)を提案していきたいとスローガンを掲げています。

現在インドネシアから 4 名の技能実習生の受け入れをしていますが、そのきっかけは大隈社長がオイスカ朝倉推進協議会の会員として支援をしていることが挙げられます(現在は法人会員として会社でオイスカを支援)。また、以前は中国から受け入れていましたが、オイスカの関係者の方々が技能実習生に対して細かくフォローして頂けること、母国からある程度の技術を身に付けてくること、さらに、朝倉市は採用環境が大変厳しい環境にあることなどからオイスカの実習生の受け入れを決めました。

2018 年 1 月に初めてインドネシアから 4 名を受け入れ、配属をしました。最初は日本の気候に慣れないこともありましたが、作業自体は覚えが早く、作業スキルも日本人に教えるのと変わらないこと、日本語のレベルも通訳なしで理解できることにも驚きました。中東の問題やラマダン、お祈りの時間などの宗教的な心配はありましたが、仕事を中途半端に投げ出したり、休んだりすることもないので、その心配はあっという間に払拭されました。その結果、新たに 4 名を受け入れる計画にしています。

先日も技能 2 年目の移行試験が実施されましたが、何の問題もなく合格できました。今では会社にとって貴重な戦力になっています。4 人は真面目で勤勉ですが、日本の習慣に最初は苦労したと思います。素直で挨拶もできますし、時間管理も問題ありません。指示されたことも順守できています。受け入れをしたことに大変満足しています。オイスカ様のご指導やフォローの賜物と感じておりますし又、毎日食べるお米をセンターから実習生に届けてもらい、彼らと会話してもらうこともフォローに繋がっていると思っています。弊社にとっても、社員にとっても良い影響を与えています。

彼らの事で問題や指摘する点を特に感じた事はありません。休みの日には従業員と魚釣りや BBQ をしたり、地域の清掃活動にも積極的に参加しています。従業員ともコミュニケーションがしっかりと取れているせいか、彼らと話すと楽しい気持ちになります。彼らが良い意味での人材資源となっています。本当に悪い部分が見つかりません。自分で行動を移さないと覚えることができませんが、彼らは自分たちで行動して知識を習得しようと努力しています。

ここで学んだ日本語や技術を現地でも活かして欲しいですし、弊社としても東南アジアに進出できれば、そして現地と繋がりが持てればと考えています。今後さらに 4 名を受け入れる予定ですが、先輩として良い見本になって欲しいと思います。(株式会社オークマ　総務部長　友清　基文様)

☛ H30.3 社内方針発表会実習生紹介

社員旅行にて実習生 ☛

タイ・チェンライ県視察団センター訪問

10 月 2 日～6 日にかけて、タイ国北部の山岳地域にあるチェンライ県から、引率者含めて18名（地方行政のリーダー）の方が九州を訪れ、福岡県と宮崎県を中心に5日間の日程で視察研修を実施しました。

今回の視察団の目的は、外務省からの支援で、現在タイのチェンライ県で活動が展開されている「山岳地域における農家住民の生計向上と森林の保全活動」の中心的人物、リーダーの研修という事で視察が組まれました。

10月2日には福岡到着後、早速脇山地区にお住いの野中夫妻を訪問し、地元のお母さんを中心に結成されている「麹の会」の活動現場の視察や、加工品の紹介、そして野中さん夫婦で実施されているブルーベリーの生産、加工などについて視察を行いました。

また宮崎県諸塚村では、森林の管理、シイタケ栽培の研修を行ない、村の人たちとも交流を深める機会もありました。短い時間でしたが、参加者一同日本における様々な事例を見学することが出来て大変喜んでいました。（豊田副所長）

青連協交流会

10 月 27 日（土）、福岡県青少年団体連絡協議会の第28回青年リーダー育成交流会が西日本研修センターで行われました。当日は青少年団体の代表の方はじめ団員16名が参加され、午前中はアジア3ケ国の料理づくりや緊急時に備えての飯盒炊爨、また竹筒や空き缶を使い、ビニールに入れたお米を薪で炊き、昼食に皆でいただきました。午後は研修生から母国の紹介やダンス、青連協の皆様からはゲームなどを通して楽しく盛り上がり、和やかで有意義な時間を過ごすことができました。（満川）

参加者の皆と研修生達

熊本県の農業ボランティアは研修生にとって新しくて珍しい機械を使って、楽しくサツマイモを収穫をしている様子。

九電生協＆九州電力総連青年フォーラム

10 月 12 日(金)～14 日(日)まで九電生協＆九州電力総連の職員 22 名がセンターを訪問し、2 泊 3 日の研修を実施しました。研修内容は規律訓練から始まり、農業実習、研修生との交流、食事作り、海外でのプロジェクトの紹介、ニワトリの解体などオイスカ独自のプログラムが盛りだくさんでした。

また、13 日(土)には脇山校区の稲刈りにも参加をしました。この日の夕食懇親会では研修生、参加者共にアトラクションを準備してダンス交流しましたが、お互いに打ち解けることができ、笑顔の絶えない研修となりました。

懇親会の中で毎年支援をいただいています九電生協様より、今年も寄付金の贈呈式が行われました。
ありがとうございました。（安東）

四国研修旅行

10 月 18 日から 10 月 21 日に四国研修旅行に行きました。主な目的は四国地区の MUFG 社員様との交流会、四国のつどいに参加するためです。

まず 19 日の四国のつどいは第 1 部に講演会、第 2 部で懇親会が行われました。懇親会では四国と西日本の研修生総勢 30 名でメケ(フィジーダンス)を披露し、いつも以上に迫力のあるステージで皆様に喜んでいただけました。

20 日は MUFG 社員 30 名様との料理交流会が行われました。5カ国 5 品の料理をグループに分かれて研修生との会話を楽しみながら作っていただきました。サテ、ソトアヤム、タコスなど、どの料理も美味しかったです。ご飯の後にはどんな国に住みたいかをグループで話し合い紹介をしました。どこのグループにも共通していたことは食べ物が美味しいことでした。思えばオイスカも様々な国の人が仲良くしているし美味しい料理が食べられます。オイスカのような国があったらいいですね…！

今年も MUFG の皆様のご支援のおかげでたくさんの研修生を受け入れることができました。また来年もよろしくお願いいたします。四国研修センターの皆様ありがとうございました。（園田）

研修生総員30名によるメケ

秋は稲刈りの季節、今年も豊作でした

今年の秋は週末に天気が悪くなり、9月29日と10月6日に予定されていた稲刈り大会が雨で中止となりました。

しかし、10月13日（土）の地元脇山校区の稲刈り大会は、秋晴れの下「主基斎田90周年記念」のイベントとして盛大に開催されました。

当日は、脇山小学校の生徒をはじめ早良高校や背振山分屯基地の自衛隊の方、グリーンツーリズムの参加者など250名を超える方が参加して稲刈りが行われました。

今回は記念事業という事で、昔ながらの、稲刈りをした後に稲を束ねて天日干しにする作業も行い、作業を終えた後には参加者全員で干された稲穂の前で記念撮影をしました。

参加した研修生も初めて見る日本の秋の原風景をバックに写真をたくさん撮っていました。

また、10 月 11 日(木)には春日市にある若竹保育園の園児35名程が来て、稲刈りの体験とサツマイモの収穫体験を行い、実りの秋を満喫しました。（豊田副所長）

障害福祉サービス事業所「クレパス」バーベキュー大会

10月の恒例行事となりました「クレパスバーベキュー大会」が今年も10月12日（金）にセンターグランドで盛大に開催されました。クレパスからの参加者は、利用者の方と保護者、職員合わせて70名程が参加し、ふんだんに用意された牛肉やイノシシ、シカ肉をしっかりと食べていただき、オイスカ秋の目玉料理であります新米の塩おむすびも「これは美味しいね」と言いながらたくさん食べてもらいました。食事の後は、お楽しみ抽選会と研修生の民族舞踊を一緒に踊って大いに盛り上がりました。クレパスの職員の方も、「オイスカに来るとみんな楽しそうに踊ったりして元気になります」と喜んでいただきました。（豊田副所長）

元気に踊っているみなさん。

脇山校区運動会

賞状とトロフィーをいただきました！

台風が去った 10 月 7 日(日)、脇山校区運動会に参加してきました。今年はニコさん(フィジーOB)がいるから優勝できる！と豊田副所長が話していました。何故かというとニコさんが研修生の時(2007 年)にオイスカは優勝したそうです。研修生も私も優勝できるかな？と思いながら当日を迎えました。

最初の袋跳びレースでは予想以上に速く 1 位となり、得意の大縄跳びでも 1 位でした。障害物競争は男女がペアで走り、一緒に風船を割ったり、洗面器に入った飴玉を探し、最後にサイダーを一気飲みするハードな競技でした。中盤の競技では他のチームにどんどん追い越され総合得点も 1 位から下がってしまいましたが、最後のリレーで上位にあがり、総合優勝しました！！(園田)

LOVE FM presents 外国人限定「ボートレース福岡・無料体験イベント」見学

今年で2回目となりました LOVE FM presents 外国人限定福岡なでしこカップ『ボートレース福岡・無料体験イベント』が10月8日に行われ研修生はお招きをいただきました。

当日はオイスカの研修生11名を含め福岡在住の外国の方30数名が参加する中、はじめに外国人向けの初心者コースのルール説明を受け、支給された2千円でそれぞれのレースを予想しチケットを購入してみんなでボートレース体験イベントを楽しみました。(満川)

マレーシアから来ました。Muhammad Syukri Bin Hashim です。ニックネームはシュクリです。22 歳です。技能実習生です。正興電機製作所で実習をします。私は日本へ来る前に 2017 年 6 月から 2018 年9月までオイスカマラで日本語の勉強をしました。

●日本はどうですか？　まず、日本はきれいです。道路や家のデザインやトイレや川などがきれいです。交通が便利でどこでも行けます。

●日本料理で何が一番好きですか？　イスラム教ですのでアルコールと豚肉以外は何でも好きです。簡単ないなりずしを作るのが一番大好きです。

●日本での目標は何ですか？　日本の技術や文化を沢山習いたいです。日本語で会話をするのを上手になりたいです。そして、沢山いい思い出を作りたいです。

●好きな言葉は何ですか？

“一期一会“です。この言葉本当にいい意味があります。人生、一期一会と言います。出会いは大切にしましょう！

防災訓練

10 月 22 日に福岡市防災センターでの防災訓練に、技能実習生のシュクリさん(マレーシア)と参加しました。最初にグループに分かれて①通報②避難誘導③消火器、消火栓の使い方を教えていただきました。通報の練習では台本があったため難なくできましたが、実際の通報の音声を聞くと焦っていました。焦らないようにするには職場の住所や電話番号を咄嗟に言えるようにメモしておくことが大切だと思いました。

次に①～③をすべて含んだ総合的な訓練を 5 グループに分かれ交代で行い、残りのグループは評価と見学をしました。1 回 1 回防災センターのスタッフの方や参加者の方からいろいろな意見や指摘が出て回数を追うごとに訓練が改善されていきました。

今回万が一のための練習ができて勉強になりました。

(園田)

研修生の紹介コーナー ③

こんにちは！！！カンボジアから来ました。Chhe Chanthou です。ニックネームはチャントーです。今年 25 歳になりました。環境保全型農業技術コースの研修生です。私は日本へ来る前、学校で農業を勉強しました。勉強をしながら週末にオイスカのボランティアをしました。

？？　チャントーさんに聞いてみましょう　？？

アンコールワット

● カンボジアのおすすめの場所は？

☛ **アンコールワット**です。アンコールワットはカンボジアの北西部に位置するユネスコの世界遺産であるアンコール遺跡の一つであります。

その遺跡群を代表する寺院です。ヒンドゥー教寺院として作られましたが 16 世紀後半に仏教寺院に改修され、現在も上座部仏教寺院となっています。毎日たくさんのお客が来ています。是非皆さんも行ってみてください～！

● 日本料理で何が1番好きですか？

☛ うどんが1番好きです。そして 2 番目は福岡のラーメンです。寿司、さしみは美味しいそうですがちょっと生物は苦手です。

● 日本はどうですか？

☛ 脇山の水がとても美味しいです。そして、空気もきれいです。

● 好きな言葉

☛ ネバーギブアップ！夢が叶うようにネバーギブアップです。大切な言葉だと思います。

みなさん、こんにちは！Dawa Norbu です。チベットから来ました。ニックネームはダワです。10 月に 23 歳になりました。環境保全型農業技術コースの研修生です。自分の酪農のファームを手掛けました。日本で色々な事を勉強したいです。特に、寿司を作れる勉強です。

？？　ダワさんに聞いてみましょう　？？

● チベットのおすすめ食べ物は？

☛ **トゥクパ**です。トゥクパはヒマラヤのヌードルスープです。チベットの大事な食べ物です。通常は肉を添えていて出されます。特に脂身が少ないチキンと一緒に食べると美味しいです。トゥクパは口に入れたら忘れられない味を感じます。

● 日本料理で何が1番好きですか？

☛天ぷらと寿司が1番好きです。

● 日本はどうですか？

☛ 日本はとてもきれいな国です。物が高いですが生活しやすいです。

● 好きな言葉

☛ 平和です。とても大事です。世界が平和になると戦争がありませんと思います。みんなで平和に生活します。そして自由に生活することが出来ます。

体験農園ふるさとだより

この夏の猛暑がうそのように9月に入ってから涼しくなり、若干台風の影響などはありましたが、今年の秋野菜の出来栄えは研修生の個人畑も含めて、まずますの成績となっています。

特に体験農園で育てているハクサイですが、防虫ネットで完全防備はされているものの、毎年虫の巣窟になっていたのが、今年は本当に珍しくきれいな状態で育っています。

また、今年のお米も猛暑の割にはきれいに出来ており、例年並み以上の収穫を得ることが出来ました。

作物の生育には適度な温度と水分、そして太陽の光が必要となりますが、今年の秋の天候は作物の生育にちょうど 適した気候になったという事になります。

11月10日（土）には、センターで「収穫感謝祭・秋」が開催されますが、たくさんの秋の実りを提供できるように頑張ります。（豊田副所長）

糸田町制施行 80 周年記念行事

これまで長く交流をさせていただいております糸田町が今年、ちょうど 80 周年ということで記念行事の招待を受け研修生たちと参加させていただきました。当日は、3000 名近くの町民の方が集まる大変ににぎやかな行事となりました。昼食では地元の料理店やJA、青年部などから出店があり料理やアイスクリーム、飲み物が無料で振舞われました。研修生たちも思い思いに好きな物を食べることができました。オイスカをPRする時間もいただき、研修生たちもステージで踊りを披露するなど会場も大いに盛り上がりました。今後ともよろしくお願いいたします。（彦坂課長）

九州電力　プレイフォーレストに参加

10月28日（日）、九州電力主催のイベント「プレイフォーレスト」が古賀市のグリーンパークで開催され、オイスカからは積み木広場の出展とステージイベントへの出演という事で、研修生一同で参加してきました。

当日は天候にも恵まれ、主催者側の発表によると1000名を超える家族連れの方が来場し、各ブースにおいて木材や竹を利用した工作、ピザやパン作りなど、盛りだくさんの内容で参加した子どもたちが体験をしていました。

オイスカの積み木コーナーも子どもたちが途切れる事無く参加してもらい、研修生と一緒に思い思いの作品を作っていました。

ステージイベントでは民族舞踊やバンブーバンドの演奏などを披露し、集まった子どもたちも楽しそうに踊りの輪に加わって、楽しくにぎやかなステージとなりました。

研修生も各ブースで行われている工夫を凝らした工作や体験の活動見ることが出来て、大変勉強になりました。（豊田副所長）

チキンダンスを踊っている研修生とお客さん

土俵開き

10月30日朝7時より高田川部屋土俵開きが西日本研修センター内で行われました。

土俵開きには親方はじめ力士、それに後援会の方、地元脇山支援者また研修センターのスタッフ研修生全員が参加する中、式守勘太夫行司によりご祈願祝詞をあげ、土俵を清め力士にけがのないよう九州場所の無事を祈りました。（満川）

祈願をする式守神田裕行司

2000 年「子供の森」計画の子親善供大使がセンターに訪問

10 月 1 日（月）、2000 年「子供の森」計画の子供大使が西日本研修センターに訪問をしました。名前はジャンレスタービスコ氏です。彼の話を聞いたら 18 年前にホームステイで友達になったホストファミリーの息子に会いに行きたいそうです。これがきっかけとなり、小さな男の子の約束だそうです。この子は今いい仕事を持ちまして、安い飛行機チケットがあったのでこのチャンスを取って、日本に来ました。今回、残念ながらホームステイ先と友達に会わなかったが私たちとまた会うことが出来て、良かったです。18 年前に、東京から京都、大阪から鹿児島のこの子達と女の子と教育委員長の引率でした。

この子がオイスカ子供の森大使の経験で一緒に成長をしました。素晴らしい人だと思います。日本で会った人たちに自分でお礼を申し上げる気持ちが素晴らしいことです。

2 人で会った時はお互い沢山話をしました。以前の事と現在のことです。昔の写真を見ながら懐かしくなりましたので以前の写真と同じ物を撮りました。☞ の写真を見て面白いと思います。（リナ）

2000年5月21日の写真

2018年10月1日の写真

オイスカ海外総局ご一行多数来所

10月11～12日にかけて、東京で行われた国際理事会に参加した世界各国のオイスカ総局の代表団から、インドネシア（6名）、スリランカ（3名）メキシコ（2名）の3ヶ国の方が、13日～17日にかけて研修センターを訪問し、研修生への激励や研修の様子について視察を行いました。

インドネシア一行は、長崎県諫早市にある「八江農芸株式会社」を訪問し、2日間長崎県内の先進農家の視察を中心にスケジュールが組まれ、スリランカの一行については、初めての九州という事で熊本県の阿蘇山まで足を延ばし、阿蘇の雄大な景色に感動していました。

滞在期間はそれぞれ2日間程度でしたが、研修生の明るく元気な姿で研修に取り組んでいる様子を見ていただき、研修生にとっても大きな励みとなりました。

（豊田副所長）

パプア研修生、リーさんの初舞台

10 月 27 日、脇山校区の敬老会があり、高田川部屋力士 2 名とパプアニューギニア研修生のリーさんをつれて参加しました。脇山校区は 75 歳以上の高齢者の方が 534 名もおられ、しかも元気な方ばかりです。式典の後、力士を紹介し、午後の文化祭では 7 月より居合に目覚めたリーさんが居合の先生の指導のもと、皆さんの前で披露しました。かっこよかったなぁ～！！　帰国後も日本の文化を継承してくれることでしょう。ご長寿の皆様、おめでとうございました。（廣瀬所長）

練習中のリーさんの姿